



BABY TECH
AWARD JAPAN
2019



「子育て応援コンソーシアム」第4回会合

ベビーテックに関する事例紹介

「母子手帳アプリ」が導く
誰もが自然に子育てできる未来



2019年（令和元年）7月3日

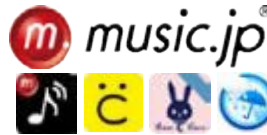
株式会社エムティーアイ



株式会社エムティーアイのご紹介

エムティーアイはコンテンツメーカー

スマートフォンやタブレットで利用できるアプリやウェブサイトを通じて、音楽・動画・コミック・健康情報・気象情報など日々の生活の中で便利さや楽しさを提供する企業です。



東証第一部上場：9438
従業員数:770名(平成31年2月現在)
スマートフォン有料会員数:427万人(平成31年3月現在)
本社:東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー35階
営業所:北海道、東北、東海 北陸、関西、中国 四国、九州、沖縄

男女の別なく子育て中の社員が利用できる両立支援制度が充実

- 所定時間を1日最大2時間短縮できる「時短勤務制度」
- 子どもの病気だけでなく授業参観などの行事でも利用できる「子の看護・子育て休暇制度」
- 子育てのために出社できない場合の「在宅勤務制度」
- 急な病気などによる遅刻/早退に対する みなし労働「チャイルドタイム制度」
- 子どもの急な病気やケガによる一時保育に対する「一時保育補助制度」
- 急な仕事や会議で使える「延長保育料補助制度」



ルナルナを運営 1,300万インストール突破※1、女性の認知率80%以上※2の健康管理サービスです。

カラダとココロへのアドバイス

365日変わる、お急ぎアドバイス登場！
日々変化する体調に沿ってお伝えします



次の予定日も一目でわかる

生理予定日や妊娠可能性が
わかるから予定が立てやすい！



埼玉県×ルナルナ

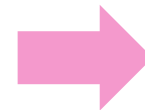
妊活支援
ウェルカムベイビープロジェクト！



大阪府、北海道、大分県
とも連携協定を締結

年間約**27万人**※3の会員が妊娠を報告
子育て支援アプリに利用者を誘導しています

妊娠するまでは



妊娠したら



妊娠前からお客様をサポート
妊娠後はお住まいの自治体と連携することで
一層便利にご活用頂いています。

※1 平成30年3月時点。有料ユーザーおよび無料アプリダウンロードを含む。

※2 弊社独自調査 平成28年10月 n=600 15歳~49歳女性

※3 平成30年(集計期間:平成30年1月1日~12月31日)に『ルナルナ』サービス内で「妊娠中ステージ」(妊娠中の利用者の健康サポートを目的とした利用ステージ)に切り替えがあった延べアカウント実績。集計対象は、期間中に『ルナルナ』(アプリ/有料Webサイト)、『ルナルナ 体温ノート』を利用したユーザー。(一定期間以上のステージの継続が認められなかったアカウントは除く。)

母子手帳アプリ『母子モ』の主要機能と導入実績

『母子モ』は、妊娠期～子育て期に必要な知識や情報をお伝えするのはもちろん、
『母子健康手帳のバックアップ』から、アプリならではの機能まで、
『充実したアプリで楽しい子育てをサポート』します。



母子健康手帳

- 妊婦健診の記録
- 出産時の記録
- 乳幼児健診の記録
- 予防接種の記録
- 成長・発達の記録
- 身長・体重グラフ



地域情報

- 地域ニュース
- 地域イベントの予約
- 子育て支援施設案内
- 乳幼児健診の通知
- アンケート



妊娠・子育て知識

- 妊娠週数・月齢に合わせた情報
- 母子健康手帳読み物
- 赤ちゃんのお世話動画
- 離乳食動画
- 救急相談



導入自治体数

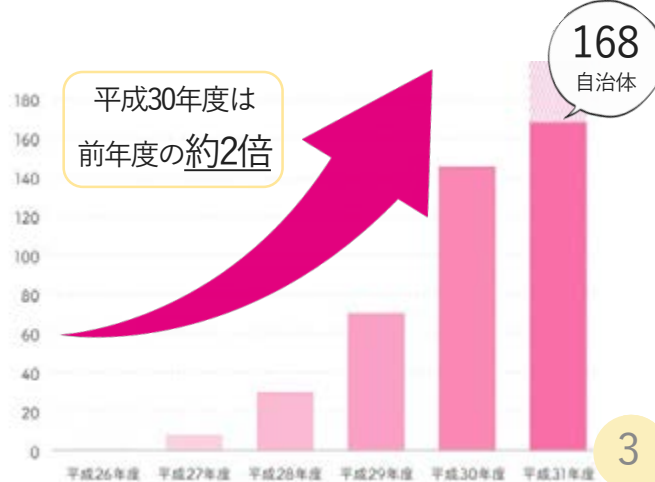
42都道府県

168自治体

に導入いただいています。

(令和元年5月時点 契約中の自治体のみの数)

導入自治体の伸び



パパがぶつかる子育ての壁

知識不足



夜泣きが辛いといわれても、
自分にできることは何だろう

情報共有



子どもの体重？
急に聞かれても
わからない

複雑なルール



予防接種のルールって難しいな
連れて行くのも大変そうだ



『母子モ』が解決する『知識不足の壁』

アプリで自然と身につく子育て知識

妊娠週数・月齢に応じたパパ向けメッセージ

baby >

10週 (3ヶ月目)

生まれた！ 出産予定日まであと206日

つわりの時期です。奥様に今つらいことを聞いてみてください。家事がつかない人、とにかく眠たい人。妊娠は病気ではありませんが、つわりは赤ちゃんからママへの「ゆっくり休んで」のメッセージです。できることを見つけて手伝ってあげてください。

▲ つわりの時期のサポートを促す

ゆうた >

0歳7か月20日

出生時の体重 生まれてから232日

記憶する脳が育ってきたので、人見知りをするお子さまも出てきます。しばらく顔を見せていないとパパの顔を見て泣く、ということもあるかもしれません。夜泣きが始まる場合もあるので、ママだけに任せきりにせず、一緒に乗り切りましょう。

▲ パパに夜泣きを夫婦で協力して乗り切ることを提案

赤ちゃんのお世話動画



▲ 沐浴準備、沐浴、お着換え、おむつ交換、抱っこなど基本的な赤ちゃんのお世話の仕方を動画で学習



▲ だしの取り方や調理法など、離乳食の基礎を学べる

もたらされる未来

ママの『産後うつ』の予防に

産後の睡眠不足からふさがちになっているママに、ミルクづくり、おむつ替えができるパパからの「遊びに行ったら」の一言はママへの最高のプレゼント。



面倒に思える離乳食づくりも基礎がわかれば意外と簡単。

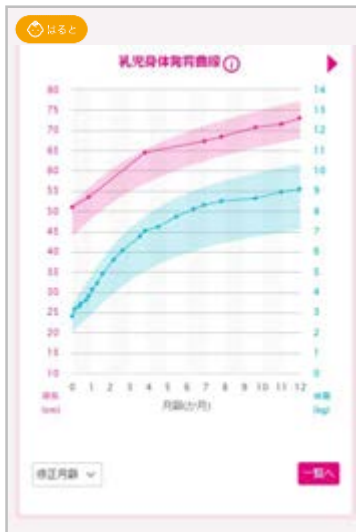
自分が作ったごはんを子どもが食べてくれたら、親子にとって一生の思い出になるはず。



『母子モ』が解決する『情報共有の壁』

1つのデータを家族で共有

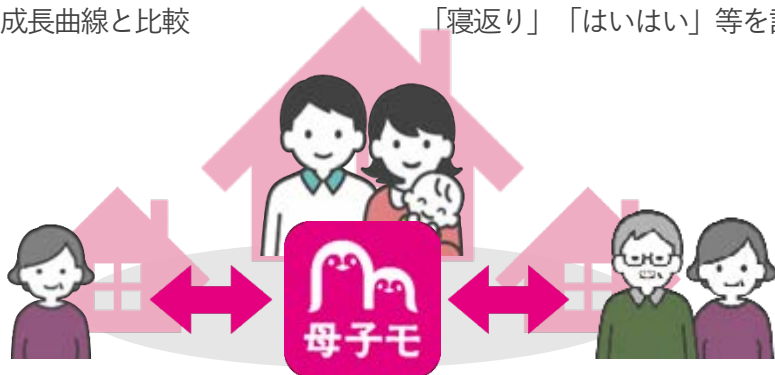
健診・予防接種・成長・発達記録の共有



▲身長・体重をグラフ化して成長曲線と比較



▲発達の目安となる「首すわり」「寝返り」「はいはい」等を記録



▲夫婦や祖父母など、子育てに携わるみんなが共有できるため自然な子育て参加を促進

もたらされる未来

急な発熱でも小児科に連れていける

診察で聞かれる、普段の様子や症状の経過、最近の体重もアプリを見れば大丈夫。共働き家庭が悩む「保育園からの呼び出し」にパパが対応できれば、家族みんなの自然な子育てが実現。



祖父母に日頃の様子が伝わり預けやすい

離れて暮らす祖父母にもアプリで日頃から情報共有しておけば、第2子出産などで子どもを預けたいときも安心。



『母子モ』が解決する『複雑なルールの壁』

ICTで保護者の悩みを軽減

誤接種や接種忘れを防ぐ予防接種スケジュール



法令はもちろん、保護者の希望や医療機関の方針、自治体の方針を踏まえたスケジュールを自動で作成

予定が近づくとプッシュ通知が届き接種忘れを防止



以下の条件で作成。変わるたびに自動調整

● 法令への準拠

生年月日・性別	接種履歴	接種間隔
回数変化	接種順番	繰り上げ
法令改正	罹患歴	ガンマグロブリン投与歴

● 保護者の希望・医療機関の方針・自治体の方針

スケジュール除外曜日	複数あるワクチンの選択	同時接種可能本数
医師指示の標準外接種	任意/HPVワクチンの接種	指定日(集団接種など)

もたらされる未来

予防接種の悩みは「母子モ」にお任せ

予防接種の複雑なルールとのにらめっこはもう不要。どの任意ワクチンを接種するか、ロタのように複数あるワクチンの選択など保護者の方針も反映。



パパも一緒に予防接種、慣れてきたら一人で

生後2か月～1歳半までは予防接種の集中時期。

注射に泣きわめく子どもがいると落ち着いてできない医師との次ワクチンの相談も、パパが一緒なら分担できてスムーズに。



急な体調不良に備えてパパが小児科受診に慣れておけるメリットも。

今後によせて

妊娠期から乳幼児期、学童期まで、
ICTを活用し、家族・自治体・医療機関の
三者による子育てを支える存在として、
誰もが自然に子育てでき、
幸せな子どもがあふれる未来に貢献していきます。

